



# 学校だより

令和元年9月30日  
10月号  
調布市立第一小学校  
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

## フェアプレイ

副校長 飯島 慶裕

厳しい暑さも一段落し、さわやかな秋を迎えています。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、実りの秋、そしてスポーツの秋。暑さが和らぎ、何をするにもいい季節になりました。

9月14日(土)の学校公開・道徳授業地区公開講座には、延べ約800人もの保護者や地域の皆様に御参観いただきました。また、臨床心理士、仲村照子先生の講演会にも、たくさんの方に御参加くださりましてありがとうございました。

ところで、9月20日(金)からラグビーワールドカップが始まりました。普段あまりラグビーに関心がない方でも、東京スタジアムで行われた日本対ロシアの試合をテレビやスタジアムで御覧になったのではないでしょうか。私もテレビで観戦していました。試合の後半、松島幸太朗選手が1試合3トライという日本記録を出したとき、感動して大きな声を出してしまいました。

スポーツは勝ち負けを伴うものですが、どのように練習に取り組んできたか、どのように試合に臨んだかによっても、観ている人の心に感動を与えてくれます。さらに試合を盛り上げるには、観客もフェアプレーが必要となります。自分の応援するチームだけでなく、相手のすばらしいプレーに対しても拍手を送る姿は、選手の人たちへの力強い応援となります。

フェアプレイの精神は、スポーツをしているときだけでなく、ふだんの生活においても自分でどう考え、どう行動するか問いかけ、正しいと判断したことができる心をもつことだと思います。先日のハッピーフェスティバルでは、まさに6年生の行動が、これに当てはまると感じました。ハッピーフェスティバルに向けて話し合い、準備し、当日は、他学年の子供たちの安全を考えながら楽しく遊べるようにと行動していました。特に1年生の子供たちは、6年生のお兄さんお姉さんと一緒に遊べたことがとても嬉しそうでした。

私たち大人も、子供たちが努力したことに対して、もっと心より応援し、拍手を送らなければならないのではないのでしょうか。スポーツに限らず、学校生活全体でフェアプレーが行き渡るように、努力を重ねていきたいと思えます。

(フェアプレイを日本体育協会が7か条にまとめています。参考までに、右に掲載します。)



フラフープ通し



くつとばし

### フェアプレイ7か条

- 1 約束を守ろう
- 2 感謝しよう
- 3 全力を尽くそう
- 4 挑戦しよう
- 5 仲間を信じよう
- 6 思いやりを持とう
- 7 楽しもう

### 10月の生活目標 すすんで仕事をしよう

学校では、いろいろな人が力を合わせながら働いています。教員はもちろん、学校をきれいにしてくれる用務主事さんや美味しい給食を作ってくれる給食主事さん、皆が使っているものを揃えてくれる事務主事さん、校舎管理補助員さんなど様々です。

協力しながら働くことの良さに気付かせ、子供たちに、すすんで仕事をする大切さや喜びを理解させたいと思えます。みんなのために役立つ仕事を積極的に行うことのできる子供であってほしいと思えます。